

広報

もり 中部の森林



写真：チングルマ（北アルプス） 飛騨署GSS提供

本局のトピックス

- ・新局長 上 練三 ご挨拶

特集

- ・「国有林見どころビューマップ」の開設（東濃署）

各地からのたより

- ・国民の森林づくり推進功労者に対する長官感謝状の贈呈ほか

シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林、お役に立ちます国有林

新局長就任ご挨拶、
特集！「国有林見どころビューマップ」の開設



2021/No.208



林野庁中部森林管理局

国民の森林・国有林



新局長就任ご挨拶

中部森林管理局長

上 練三

本年七月一日付けで、中部森林管理局長に就任しましたと申します。なにとぞよろしくお願ひ致します。

また、国の関係機関、長野県、愛知県、岐阜県及び富山県、並びに管内市町村をはじめ、森林・林業・木材産業に携わる団体・事業者等多くの皆様方には、日頃より国有林の管理経営に特段のご支援、ご理解を賜っていることにつきまして、心より御礼申し上げます。

わたくし自身、本格的な国有林勤務は、平成二十一年十二月まで所属した当時の林野庁職員・厚生課以来、十数年ぶりとなり、この頃は現在の組織形態ではありませんでしたので、一般会計下で業務に携わるのは実質的に初めてということになります。

既にご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響が業務のやり方や日常生活だけでなく、今後の働き方まで急速に変える状況にあります。加えて、それ以前から人口減少社会の中で、人材を量的に確保していくきづらいいことも周知の事実です。このような状況下で、国有林の役割を果たしていかなければなりません。

わたくしどもがやるべきことは、国全体の基本計画や方針をこの中部地域にトレースして、確実に具現化することと考えております。

まず、①国有林組織が担っている業務、すなわち、公益的機能という森林の機能そのものをこれまで以上に質的に充実させること。所在する地域で求められている特有のものもあります。また、林産物の供給においても、市況をよく見極めておくことや売り方の

質を高めていくことが効果的な販売になりますし、ひいては、地域への貢献にもつながることになります。そのためには、業務の思い切った効率化と経験豊富な職員の持つ、仕事のやり方や、知識・知見の若い職員への継承が必要です。

もう一つは、②民有林に対する技術的支援を中心としたサポートを果たすことです。そのためには、わたくしども自身が技術水準を高めると同時に、民有林現場のニーズは何か、自治体行政に携わる方々は何に困っているか、よく把握しておくことが肝要です。

これらにはすでに中部局として取り組んでおりますが、平成二十八年策定の森林・林業計画と同時に行なった森林法の改正以降、新たな森林経営管理法、国有林管理経営法改正、森林組合法改正、本年の間伐等特措法改正、そして新たな基本計画の策定と、国レベルの計画策定や法律改正等が立て続けに行われてきており、いよいよ現場で実行、定着させることが必要です。中部局管内で、具体的な取組、そこから生まれる成果を一つ

一つ積み上げていきたいと考えております。

最後に、今申し上げたことを進めるに当たって、労働安全、新型コロナウイルス感染症対策を含めた健康確保が基本中の基本です。明るい職場づくりに努めながら、地域の皆様方に理解と協力をいただけるよう、取り組んでまいります。

◆略歴

出身地 鹿児島県

昭和63年4月 林野庁 業務部業務第一課採用

平成28年8月 林野庁森林整備部研究指導課長

平成30年1月 林野庁 国有林野部付

平成30年4月 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター審議役(総合調整担当)

平成31年4月 国立研究開発法人森林研究・整備機構構理事

(育種事業・森林バイオ担当)

令和3年4月 林野庁 国有林野部付

お別れにあたって

異動のご挨拶

前局長

吉村

洋



読者の皆様におかれましては、日頃から中部の森林をこ愛読いただき誠に有り難うございます。

さて、私は、本年七月一日付で林野庁に異動となりました。

二〇一九年十月に着任以来、関係する県・市町村、事業者等の皆様、そして読者の皆様のお支えを受けて、一年九ヶ月の任務を終えることができました。ここに改めて心から御礼を申し上げます。

着任早々には台風十九号に伴う集中豪雨により、長野県の千

曲川の決壊による甚大な被害が発生したほか、山地においても数多くの崩壊が発生しました。自然の猛威に直面し、改めて森林の公益的機能発揮の重要性を痛感した出来事でした。

また、二〇二〇年の七月豪雨災害においても、長野県と岐阜県を中心に、各地で洪水が発生したほか、多数の道路や林道等の決壊、山腹崩壊等が発生しました。これらの災害については、関係する事業者の皆様のご協力をいただきながら、中部森林管理局を挙げて早期復旧に努めてまいりました。

さらに、二〇二〇年からは、日を追うごとにコロナ禍が深刻化しています。多くの方々が直接間接に影響を受け、様々な困難に直面しておられることと存じます。

中部森林管理局としては、何よりも管内国有林野の公益的機能の発揮と木材の安定供給を通して、地域の雇用・経済を下支えするべく、不断の取組を進めてまいりました。

さて、私の在任中に本広報誌「中部の森林」が創刊二〇〇号を迎えることができたのは、思いがけない幸運な出来事でした。

しかし、手作りの広報誌をここまで発行することができたのは、読者の皆様の励ましのお言葉があつてのことです。「中部の森林」は、今後とも時々々のニーズに応じて益々進化していくことと思います。

読者の皆様におかれましては、引き続き、森林・林業・木材産業へのご理解、ご協力とともに、「中部の森林」のご愛読、そして中部森林管理局への応援をお願い申し上げます。一年九ヶ月、本当にお世話になり有り難うございました。



創刊200回記念号表紙 (R2.11月発刊)



令和改元記念植樹 (R元.11.25：中部局庁舎)：中央標柱左側が局長



遠隔操作で360度撮影している様子（アライダン自然観察教育林内の共生木）

「国有林見どころ
ビューマップ」の開設
～三六〇度撮影した
画像が見られます～

【東濃森林管理署】

五月二十一日、東濃森林管理署のホームページに、管内の名所や景勝地を三六〇度パノラマで見ることが出来る「見どころビューマップ」のWEBサイトを開設しました。

東濃署管内には、林業の町として培ってきた歴史が感じられる初代大檜や式年遷宮斧入式跡、中部地方ならではの壮大な景観が楽しめる富士見台風致探勝林や恵那山、インバウンド効果で多くの観光客が訪れている付知峡自然休養林など、数多くの魅力溢れる景勝地があります。

見どころマップの作成にあたっては、国有林と国有林に隣接する名所や景勝地を三十箇所選定し、ほぼ一ヶ月かけて署内の若手職員を中心に撮影を進めてきました。

ホームページの地図上で場所を選択すると、グーグルストリート

ビューが開き三六〇度のパノラマ写真や、一部ドローン撮影した動画が見られるようになっていきます。今後も季節により良い写真の追加更新を行っていく予定です。

この取り組みは、新規採用職員の最初の仕事となり、新採職員からは『管内の魅力を知っていく中で、この地域で働くことができる喜びを感じると同時に、国有林の管理や、その魅力の発信に尽力していきたいという思いが高まりました。』といった感想がありました。

コロナ禍で自由な行動が制限される中、バーチャル技術でオンラインを通じて体験できるVR旅行が注目を集めています。一般の方は普段見ることができない国有林（岐阜県東濃地方）の風景をご覧ください。

【見どころビューマップ】

次のURL又は、QRコードからアクセスしてください。

<https://www.rinya.naff.go.jp/chubu/rounou/nidokorohtml>



東濃森林管理署管内の国有林見どころビューマップ

～360度撮影した画像が見られます～

📷📺📹 や🔢数字をクリックすると360度パノラマウィンドウなどが開きます。

見どころの名称等	Google ストリートビュー PHOTO/VIDEO
①乙女溪谷	📷📺📹
②小秀山 (山頂からの眺望)	📷📺📹
③白果峠	📷📺📹
④渡合温泉 -ランプの巻-	📷📺📹
⑤古道木曾越峠	📷📺📹
⑥木曾越峠	📷📺📹
⑦高榎の滝	📷📺📹
⑧王滝新道	📷📺📹
⑨初代大櫓	📷📺📹
⑩二代目大櫓	📷📺📹
⑪ヒノキ・サワラ合体木	📷📺📹
⑫式年遷宮斧入式跡	📷📺📹
⑬式年遷宮御機代木伐採式跡	📷📺📹
⑭名古屋城本丸御殿復元斧入式跡	📷📺📹
⑮木曾ヒノキ備林	📷📺📹
⑯護国神社 奥社	📷📺📹
⑰赤石園「地獄淵」	📷📺📹
⑱「運命の木」姫路城西心住用材	📷📺📹
⑲付知峡「本谷園」	📷📺📹
⑳不動滝	📷📺📹
㉑東股谷「八丁くらがり」	📷📺📹
㉒旧木曾五木保護林(悠久の森コア)	📷📺📹
㉓百間滝	📷📺📹
㉔奥三界岳 (山頂からの眺望)	📷📺📹
㉕夕森公園 龍神の滝	📷📺📹
㉖種母生物群集保護林	📷📺📹
㉗神坂大櫓 (巨木百選)	📷📺📹
㉘富士見台風致探勝林	📷📺📹
㉙恵那山 (山頂からの眺望)	📷📺📹
㉚黒井沢登山口	📷📺📹
㉛笠木 (巨木百選)	📷📺📹
㉜アライダシ自然観察教育林	📷📺📹
㉝岩村城跡	📷📺📹
㉞小里城山城跡	📷📺📹
㉟笠置山 (山頂からの眺望)	📷📺📹
㊱農村景観日本一の地	📷📺📹



②小秀山



⑩三代目大櫓



⑳不動滝



㉔奥三界岳



㉟笠置山



㉕夕森公園 龍神の滝



㉙恵那山



㉛笠木 (巨木100選)



㉝岩村城跡



㉞小里城山城跡



㉜アライダシ自然観察教育林

※ 案内へ行く場合は、登山と同様、自己責任が原則です。入林等の手続が必要となる場合や林道等を行う必要があります。事前に東濃森林管理署までご確認ください。

地図データ ©2021 Google



受賞者に贈られた木製の感謝状



林野庁長官感謝状の贈呈の様子



当日の参加者



チップパーにより竹を粉碎している様子

**国民の森林づくり
推進功労者に
対する長官感謝状の贈呈**

【富山森林管理署】

五月二十九日、「社会貢献の森」の協定を締結している富山市の大沢野国有林において、森林整備活動に取り組んでいる「NPO法人きんたろう倶楽部」に、国民の森林づくり推進功労者に対する林野庁長官の感謝状を贈呈しました。

きんたろう倶楽部は、森林の再生や森林と人とのふれあいを目指して、林内に侵入した竹の除去や歩道修理等を長年に亘り実施してきたことが認められ、表彰を受けたものです。

この地域は強風が多く発生することでも知られ、防風保安林にも指定されている大沢野国有林は、きんたろう倶楽部の活動を通じて、森林の防風機能の維持・向上も図られ、現在は「風とせせらぎの森林」と呼ばれ、地域住民等からも親しまれています。

式後には、きんたろう倶楽部の会員十二名と当署職員四名の参加

により、今年度の森林づくり協働作業が行われ、竹の除去作業や除去した竹のチップパー粉碎・林内還元を行いました。コロナ禍にあることから、近日の健康状態のチェック・体温計測を行うとともに、作業中の距離の確保・マスク着用など感染予防対策を万全に行いました。

当日は天気にも恵まれ、気持ちの良い楽しみながらの作業となり、長引く自粛生活のストレス解消にもなったと思います。今後とも、きんたろう倶楽部と連携しながら、国民の森林づくりに取り組んでまいります。





灌木などを鋸で切っている様子(上下)



作業後、赤沢台からの御嶽山の展望

木を切るときに使用する、鋸を初めて使用する生徒が多数だったことから、作業開始直後はぎこちない様子で苦戦する場面も多くありましたが、終盤には手慣れた様子で作業を進めていきました。

生徒たちは、蜂に刺されないために防蜂網を付け作業を行いました。

今回の遊歩道整備では、遊歩道の上に枝がかかっている木や、展望の妨げになる灌木などを除去する整備を実施しました。

作業場所の上赤沢コースは多様な樹種を観察するのに最適で、人工林も観察できるコースです。展望台の赤沢台からは御嶽山を望むことができます。

五月二十四日、長野県上松町の赤沢自然休養林において、上松中学校の生徒二十八名が、森林体験学習の一環として遊歩道の整備を行いました。

【木曽森林管理署】

上松中学校
赤沢自然休養林
遊歩道整備作業

コロナ対策でマスクを着用していたこともあり大変な作業となりましたが、生徒たちの作業によって、遊歩道は歩きやすくなり、赤沢台から御嶽山の展望が良くなりました。

生徒からは、「疲れたが、遊歩道がきれいになっていく様子が嬉しかった。また来てみたい」、「休養林には何度か来たことがあるが、木を伐る作業は初めてで楽しかった」という声が聞こえました。

赤沢自然休養林は、令和三年十一月七日まで開園予定です。感染症の状況に注意し、対策を徹底した上で、森林浴発祥の地である赤沢自然休養林へお越しく下さい。

※赤沢自然休養林に関する詳細は、上松町観光協会のホームページでご確認ください。



上松観光局





ミズバショウ2



ミズバショウ1



電気柵設置作業の様子2



電気柵設置作業の様子1

「岐阜の宝もの」を守る
 ミズバショウ群生地に
 電気柵を設置



【飛騨森林管理署】

五月二十六日、天生国有林内に
 あるミズバショウ植物群生地（飛
 騨市河合町天生）において、天生
 県立自然公園協議会や当署の職員
 等総勢二十四名により電気柵の設
 置作業を行いました。

同地域は、県立自然公園に指定
 されており、天生峠を中心^{あもつだけ}に貴重
 な高山植物が咲き誇る湿原のほ
 か、広大なブナの原生林など変化
 に富んだ雄大な自然を体験できる
 場所ですが、近年、シカやイノシ
 シ等によるミズバショウや高山植
 物の食害が見受けられました。こ
 のため、平成二十七年から電気柵
 設置による保全を実施し、この効
 果により被害は年々減少していま
 す。

今年も冬期閉鎖していたアクセ
 ス道路（国道三六〇号）が五月
 二十四日に通行止めが解除され、
 十一月初旬まで、四季折々の花々
 を多くの皆さんに楽しんでいただ

けると思います。

※中部森林管理局のホームページ
 にある「GSS（グリーンサポー
 トスタッフ）情報」の天生活動報
 告をご覧くださいと、今見られ
 る花等を写真で紹介しています
 のでお出かけ前には是非ご活用く
 ださい。



サイトURL

[http://www.rinyama.nif.go.jp/
 chubu/hozen/gss/nida/amou-top.
 html](http://www.rinyama.nif.go.jp/chubu/hozen/gss/nida/amou-top.html)



付知中学校 森林教室
座学・木と山のお話

【東濃森林管理署】

五月二十七日、中津川市立付知中学校の一年生を対象に、当署とぎふ森林文化アカデミーを講師として森林教室が行われました。

この森林教室は付知町優良材生産研究会により次代を担う子ども達に森林の大切さを伝えるために座学、木工教室、育林作業、木曾ヒノキ備林の見学という内容で年四回にわたって実施されます。最初に当署長から、日本の林業の歴史について木曾式伐木運材図会や木曾川の筏流し、森林鉄道の映像を用いて説明しました。



林業の歴史を説明するスライドのひとコマ



森林の働きについての学習の様子

次に、ふれあい担当から森林の働きについて、また、その働きを發揮させるためには適切な管理・手入れが必要であること、さらに、東濃ひのきや木曾ヒノキ備林など付知町の森林の魅力について伝えました。

生徒たちは山落としや川狩りなどの今とは大きく異なる昔の林業の映像や、東濃ひのきの特徴の話に興味を持ちながら聞いていました。

今回の森林教室が生徒たちにとって、森林を適切に管理することの大切さを知り、地元の貴重な森林や林業に興味を持つきっかけになればと思います。

信州大学キャリア
デザイン講座へ講師を派遣

【企画調整課・南信森林管理署】

六月二日、信州大学の伊那キャンパスにおいて、同大学農学部二年生百七十名を対象に、当局の職員がキャリアデザインの講義を行いました。

この講義は、キャリアの概念を学び、将来における自己のキャリア形成のイメージや目標を模索することが目的とされています。同大学の卒業生が林野庁に就職し活躍されていることもあり、平成三十年以降、外部講師の依頼を毎年いただいているものです。

講師の岡田企画調整課長からは、我が国の農林水産業における課題や国の施策、特に森林・林業の現状・課題に対する林野庁の役割や、国家公務員である林野庁職員のキャリアパス等を紹介しました。

また、諏訪南森林事務所奥山森林官からは、「山の状況・変化を見て、森林の機能を發揮するために必要なことを考え、行動する」



局職員による講義

「地域の要望を聴き、様々な状況に対し回答・判断・対応できるようにする」といった森林官の仕事の基本や現場での業務について、国有林の現場の写真を織り交ぜながら説明しました。

受講した学生からは、「様々な組織に向かう機会があり、人の何倍もの人生経験ができる点に魅力を感じた」、「自然や森林に興味を持っており、林野庁職員の仕事にも興味を持った」、「森林官の仕事内容の多さに驚いた」といった感想が寄せられました。

森林・林業の現状・課題や林野庁の業務、当局の取組の紹介など、職員を積極的に講師派遣しますのことで、ご要望がございましたら局や地元の署等にご相談ください。



越百山から仙涯嶺と南駒ヶ岳を望む

シリーズ

森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【南木曾支署 須原森林事務所】

森林官 小幡 雅和

須原森林事務所は、長野県の西部に位置する木曾郡大桑村にあり、管轄する国有林野は村内を流れる木曾川右岸側殿地区の阿寺国有林と、左岸側の伊奈川国有林の約一二、二〇〇haです。また、阿寺国有林には分収育林地が多く、一四四haが設定されています。

管内の森林は多様性に富んでいて、右岸側は阿寺山地の比較的なだらかな地形でヒノキの生育に適しているのに対して、左岸側は日本百名山に選定されている中央アルプス空木岳（標高二、八六四m）の山麓を中心に低山帯から高山帯までの標高差約二千mに及ぶ急峻で変化の激しい原始的で多様な生態系の森林を形成しています。

空木岳の他にも、二百名山の南駒ヶ岳（標高二、八四一m）、三百名山の越百山（標高二、六一三m）等が連なっており、東海地方などからの登山者が訪れています。

当事務所は森林官一名ではありませんが、製品生産事業のほか、森林育成事業、境界巡検、国有林野の貸付使用、獣害対策などの各種業務を実施しています。幸い阿寺森林事務所と合同事務所というところもあり、阿寺森林事務所の森林官や森林技術員と連携を図り、円

滑な業務運営に取り組んでいるところですよ。



ヘリによる集材作業

また、部内は地形が急峻であることから、滑り等に起因する滑落が心配されるところです。

各業務の実行にあたっては、足下の確認、足場の確保とともに、ゆとりを持った行動に努め安全を確保しているところです。このことについては、各請負事業の監督時にも繰り返し指導しているところであり、今年度の全ての事業が無事故・無災害で終了するよう業務を進めていきたいと思えます。



タワーヤードによる集材作業



事務所にて（筆者）

■未来の担い手へのメッセージ
健全な森林造りというのは気の長い仕事ですが、自らが携わった森林が後世まで残るといえるのは、移り変わりの激しい現代において特別な仕事でもあります。この職場の業務は多様であり、色々なことが経験できて、自分にあった仕事が見つけられる場所であると思えます。現場での業務もその一つで、また違った視野が広がると思えます。

自然の中での業務に携わってみてはいかがでしょう。

シリーズ

「私の木語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。

「地域材でDIY」



地域のアカマツで作った物置の前で (筆者のDIY)

合同会社ラーチアンドパイン 代表 木平 英一

■自己紹介

三十代は名古屋の大学で森林研究。四十代は地元にてUターンして民間企業で薪販売事業に従事。五十代になり独立し、昨年小さな会社を立ち上げる。十年ごとにやることは変わっていますが、森に関わる仕事で一貫しています。

■活動内容

薪の仕事をしていた時です。太い立派なアカマツの丸太が薪材です。もったいないし、薪にするのも大変だし、なんとかならんかな。どうして木材として使えないのかと素材に疑問に思っていました。



地域のアカマツでDIYした大型ウッドデッキ

独立してから、地域の素材生産者、製材所さんと打合せして、ツーバイフォーの規格で二〇〇本ほど製材し、自分でウッドデッキを作りました。人工乾燥なので、丸太からウッドデッキが完成するまで四十日ほどです。なんだ、やろうと思えばできるんだ。地域の木材がなぜ流通しないのか？その答えは単純明快。使う仕組みが無い、消費者がいいるからなんです。



そこで、地域材を地域の人がDIYで使う仕組みを作ろうと活動を開始。地域材を販売するイベントを定期的に開催しています。知名度も無く、誰も来てくれないかと思いきや、イベントは盛況。地域の木材を使いたいというニーズは確実にあると感じています。



地域の有賀製材所さんをお借りして 地域木材の販売会

■今後の展望(メッセージ)

なぜ、地域の木を地域で使うのか？近くの山の木を近くで製材して家を建てる。ちよつと前は当たり前のことでした。しかし、製材、流通の効率化、大規模化で地域の材が地域で使われることは無くなりました。これは一つの流れですが、それだけじゃなくて地域の小さな木材の循環も大切だと考えています。

木や森は、木材生産だけでなく地域の安全、景観など多くの役割を担っています。森を適正に利用

し、保全するのは難しい課題ですが、顔の見える小さな循環だと安心です。地域で森に関わる人は、森が好きで森を大事にしている人ばかりだからです。一次産業は、地産地消がまず基本。地域材でDIYを当たり前にし、木材の地産地消を当たり前にしていきたいと思えます。



金井山素材さん 木と森が好き

○連絡先

合同会社 ラーチアンドパイン
〒三九六〇〇三三
長野県伊那市山寺二三五二一
TEL〇八〇八四九三二一三五七
地域材でDIY Facebook
グループページ
是非ご参加ください。
<https://www.facebook.com/groups/539792124068328>



シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第3回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登いのうえ ひろと

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「昔の服装(制服)」



明治30年代の小林区署長
(※撮影地域・個人等不明)

「昔の軍人さんの写真?」と、思われる方もいらっしやるかもしれません。これは明治三十年代の「小林区署長」、今で言う森林管理署長さんの制服(正装)です。サーベルも持っていたりと、戦前の制服は大変厳めしいものでした。

職員の制服は時代や役職、所属する組織によっても違いました。現在の「林野庁」に繋がる「林野局」が出来る昭和二十二年以前、国有



昭和20年代初頭の帝室林野局
(宮内省) 職員



昭和20年代初頭の営林署
(農林省山林局) 職員



昭和25年に制定された
第一種制服

林は大きく分けて農林省山林局、宮内省帝室林野局、内務省北海道庁という三つの別々の組織が所管していました。

昭和二十五年には統一した組織の現代的な制服が出来ましたが、それでもまだ警察官のような印象を受けますね。

戦前の時代も含め、林業の現場ではこのような制服を毎日着用していた訳ではなく、作業に適した服装もしていたようです。

現在の中部森林管理局で使われている業務服は昭和四十五年に制定されたものがベースになっていると聞いております。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。

これは、カラー写真のない時代へ時を超えて!むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



大きく深い山脈 南アルプスの最南端

南アルプス南部光岳 てかりだけ 森林生態系保護地域

設定目的

南アルプス最南端に位置する光岳てかりだけをはじめ、加加森山かがもりやま、中ノ尾根山なかのおねやまなど二〇〇〇メートルを超える一帯には、本州中部の太平洋側における山地帯から高山帯に至る植生の典型的な垂直分布が残されています。約一七〇〇メートルまでの区域には冷温帯の植生、約一七〇〇メートルより上部は亜寒帯の植生が分布し、最上部にはハイマツ群落の南限の高山帯や石灰岩地特有の植生も包括しています。

こうした生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

地況・林況

標高二〇〇〇メートルを超える山々に囲まれ、多くの沢が流れています。沢の流域は極めて急傾斜で、下部には浸食により生産された砂礫が堆積しています。また、周氷河地形しゅうひょうがが存在するのも特徴です。この周氷河地形は、光岳付近が南限とされるハイマツ群落との関連が深いといわれています。

約一七〇〇メートルまでの区域は冷温帯の植生分布を示し、イヌブナ、ミズナラ等が見られます。

約一七〇〇メートルより上部は亜寒帯の植生を示し、コメツガ、ウラジロモミ等の針葉樹が自生します。

さらに尾根筋にかけてはシラビソ、オオシラビソが多く分布しています。

最上部の高山帯にはハイマツ群落及びアオチャセンシダ、イワウサギシダ等の石灰岩地特有の植生が分布しています。

シリーズ

中部の保護林(第3回)

所在地
長野県飯田市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。



本州南限のハイマツ帯



シラビソ群落

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に、参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれらの事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



木曾谷観光産業の復興支援 ～中山道木曾十一宿パズルラリー～

1. ねらい

平成26年9月の御嶽山噴火などの災害の影響を受けている木曾谷の観光産業の復興を支援するため、木曾街道を巡り手に入れたパズルピースで1つの絵が完成するパズルラリーを実施しています。

2. 概要

中山道木曾十一宿パズルラリーでは、長野県塩尻市から岐阜県中津川市に至る中山道の木曾十一宿を北部(贄川～福島)と南部(上松～馬籠)に分け、それぞれ6か所の観光案内所等に協力を得て、パズルピースを置いてあります。そのパズルピースを集めて木曾森林ふれあい推進センターに応募すると、木曾ひのきを使用した張り板と台座を応募者に進呈します。

パズルに用いる絵は、木曾路美術館所蔵の歌川広重の浮世絵を使用しています。

このほか、「赤沢トレッキングパズルラリー」、「御嶽山麓パズルラリー」も期間限定で行っています。



北部「奈良井」

南部「須原」

3. 成果

応募者からは、「木曾の宿場の良さに改めて気づく機会になった」、「引き続きパズルラリーを実施してほしい」、「絵が変わったら、また挑戦したい」といった声が寄せられています。

4. お問い合わせ先

木曾森林ふれあい推進センター 電話0264-22-2122

お役に立ちます 国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ



国民の森林・国有林

国有林モニターのご紹介

辻村 洋子 (愛知県)

◇自己PR…(趣味や特技など)

趣味は、ここ数年来海外、国内旅行に有休を使って行っています。

去年からホットヨガやヨガを始めました。また、中古のリトルカブ(バイク)を買い、久々に乗り回せるとウキウキしています。

◇国有林モニターに

応募いただいた理由

過去に消費生活モニターや市政モニターを務めた経験があります。

国有林モニターの存在を初めて目にし、興味を持ったのが応募した理由です。

自分自身の勉強にもなると思いモニターをしていきたいです。

◇国有林に期待する点

資源の有効活用をしていただきたいです。あと、スギ花粉対策をぜひお願いします。



デジ森NOW!

〜今がわかるトピックス〜

デジタル森林紀行(愛称:デジ森)では、風景写真を中心に掲載していますが、同サイトの「デジ森NOW!」では、GSS活動報告や職員から投稿されたテーマにこだわらない画像を紹介しております。

今回は、南木曾支署職員からの投稿画像を紹介させていただきます。



新型コロナウイルスを 下げるために全ての場面で 引き続き守ってほしいこと

- マスク着用や三密(密閉・密集・密接)の回避を徹底しましょう。
- 換気を良くしましょう(室内の場合)。
- 集まりは、少人数・短時間を心掛けましょう。
- 大声をださず会話ができるだけ静かにしましょう。
- 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒を徹底しましょう。

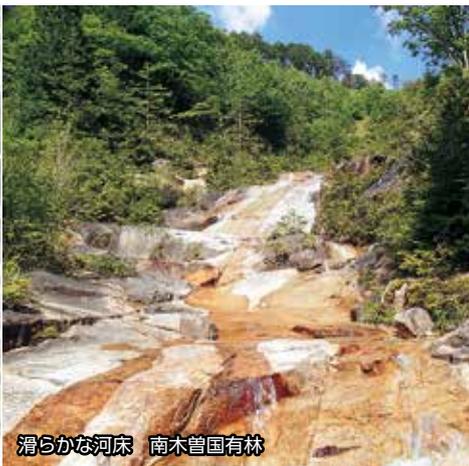
改めて、三密の回避、手洗い、マスク着用、換気、共用施設の消毒などの徹底をよろしくお願いいたします。

◇感染リスクが高まる「3つの場面」 (内閣官房)

◇新型コロナウイルスについて (農林水産省)



並び立つ木曾(天然)ヒノキと天然カラマツ 柿其国有林



滑らかな河床 南木曾国有林



ギンリョウソウ 柿其国有林



咲き誇るヒメウツギ 南木曾国有林

編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

7月に入り、豪雨による災害が各地で発生しています。一刻も早い復旧を願うとともに豪雨災害被災地の皆様にお見舞い申し上げます。

さて、7~8月は、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせて国民の祝日が移動した月にあたります。「海の日(7月の第3月曜日)」は7月22日、「スポーツの日(10月の第2月曜日)」は7月23日、「山の日(8月11日)」は8月8日へ変わりました。そして、梅雨が明ければ、いよいよ夏山シーズン到来!この連休を活用し海や山へレジャーを計画されている方もいると思いますが、移動先の現地の状況を把握し、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底する必要があります。また、選択の一つとして、世紀の祭典をお家で観戦するのもいかがでしょうか。本当に早く収束してほしいものです。

最後に、新緑の季節を、いつでもお気軽に自宅で森林や自然の風景を楽しむことができる「デジ森(もり)」で、美しい風景もご覧になってください。

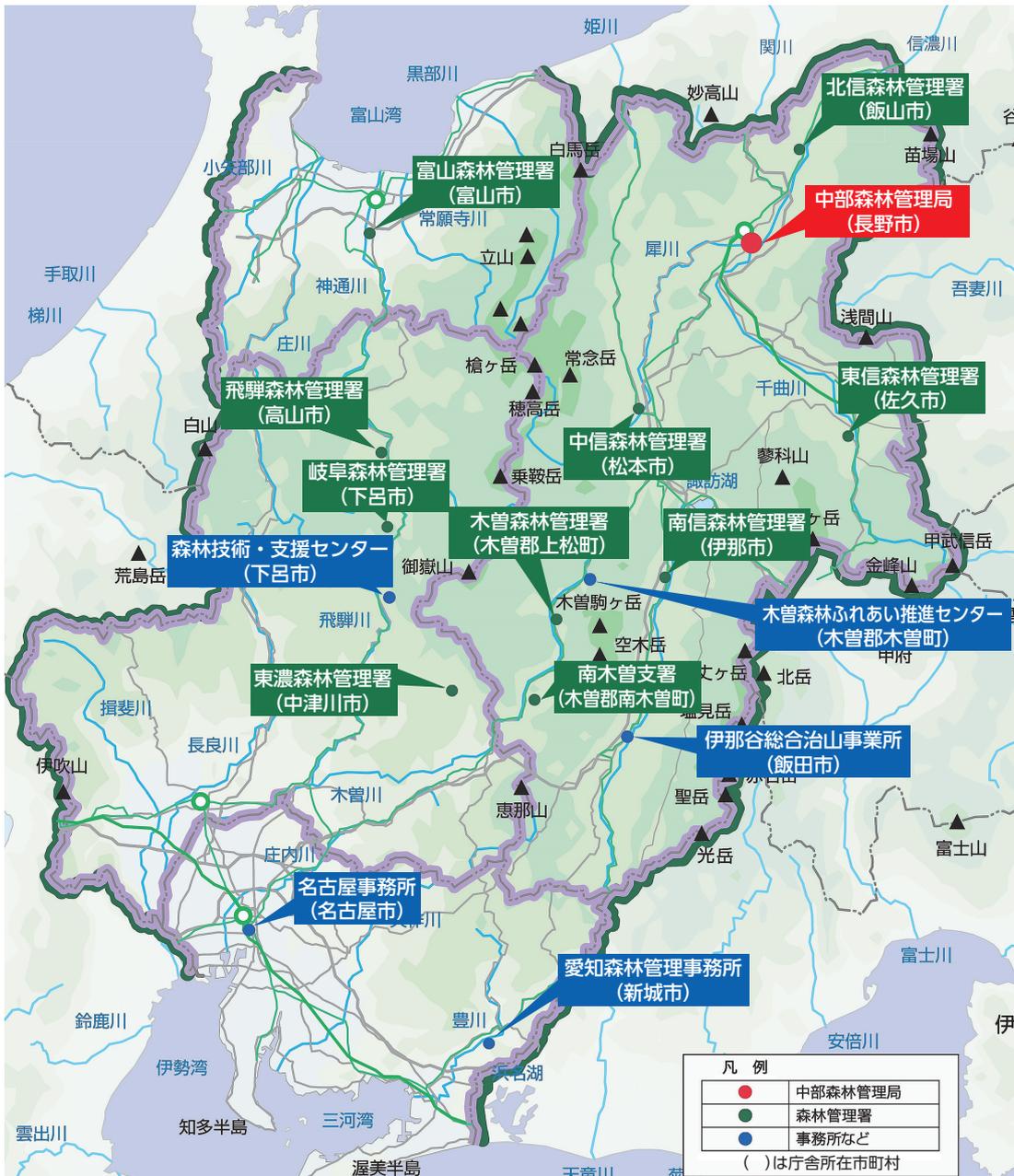


デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。



デジ森 テーマ「青」

38.中央アルプス千畳敷カール(南信署管内)



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局
ホームページ



広報
「中部の森林」



用語の解説
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

凡例	
●	中部森林管理局
●	森林管理署
●	事務所など
()	庁舎所在市町村

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局
編集：総務課 広報
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
電話：026-236-2531
FAX：026-236-2733
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>
または、右のQRコードを読み込んでください。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。